

## よくあるご質問

**Q.1** 「契約者ID」「初回ログインパスワード」「確認用パスワード」「ワントタイムパスワード」は、どのような場面で使うのですか？また、ログインパスワードの「初回」とはどのような意味ですか？

**A.1** ご利用場面毎の使用ID・パスワードは次の通りです。なお、初回ログインパスワードは、お申込後の初回ログイン時に正式なログインパスワードに変更してご利用いただけますので、次回ログイン以降は登録したログインパスワードをご利用いただけます。  
「契約者ID」「ログインパスワード」：ログイン時  
「確認用パスワード」：振込、振込予約取消、利用限度額変更等  
「ワントタイムパスワード」：ログイン時※、振込、振込予約取消、利用限度額変更等  
※ログイン時については、利用者の設定によっては不要。

**Q.2** パスワードを変更したいのですが？

**A.2** ログインパスワードは「メインメニュー」⇒「サービス一覧」⇒「ログインパスワード変更」にて変更できます。  
お客様カードの「確認用パスワード」は、変更・再発行等できません。

**Q.3** 規定の回数を超え、連続で入力を間違えてしまったため、パスワードがロックされてしまいました。どうすればいいのですか？

**A.3** 各パスワードのロックの解除については、当金庫所定の手続きが必要ですが、詳細につきましては、お問い合わせ先までご連絡ください。

**Q.4** 「お客様カード」を紛失してしまったら、どうすればいいのですか？

**A.4** 「お客様カード」をなくされた場合は、すみやかに当金庫までご連絡ください。

## ご注意事項

### 契約者ID、各パスワードの管理について

お客様カードおよびお申込用紙（お客様控）は、通帳、印鑑およびキャッシュカードと同様に非常に大切なものです。

以下の点にご注意のうえ、お客様ご自身で厳重に管理してください。

■お客様カードおよびお申込用紙（お客様控）は他人の目に容易に触れるところに放置しないでください。

■各パスワードは、他人には絶対に教えないでください。

※当金庫職員が、お客様にパスワードを確認させていただくことはありません。

■「ログインパスワード」は、定期的に変更していただくことをお奨めします。

■契約者IDや各パスワードが他人に知られたと思う場合は、「IB取引中止操作」またはすみやかに当金庫までご連絡ください。

■ログイン時に、不正な入力画面（ポップアップ画面）を表示させ、パスワード情報を入力させようとするウィルスが発生しています。IBシステムが、「確認用パスワード」を3箇所以上同時に入力要求することはありませんので、絶対に入力しないでください。

■IBシステムがパスワード等の重要情報のコピーをアップロード要求することはありませんので、絶対にアップロードしないでください。

## セキュリティに注意してください

最近、マルウェア、ウィルス、フィッシング詐欺等により、お客様から暗証番号（パスワード）などを不正に取得し、お客様に成りすまして、お客様の口座から不正に預金を引き出す（振り込む）被害が発生しております。

本サービスをより安全にご利用いただくために、以下の点にご注意のうえ、本サービスをご利用いただきますようお願いいたします。

### ■ウィルス対策ソフト等は最新の状態に保つ

ウィルス対策ソフト[Rapport（ラポルト）]等を導入し、パターンファイル、ブラウザ・OSのセキュリティパッチの更新をこまめに行い、パソコンやスマートフォンのセキュリティ水準を最新の状態に保ってください。更新を自動的に行ってくれる機能も提供されていますので、有効に活用してください。

### ■不審な電子メールの開封、不審なソフトのダウンロード、不審なリンクのクリックは行わない

コンピュータウィルスやスパイウェアは、電子メール開封時やフリーソフト等のダウンロード、不審なホームページを開いたときなどに、気付かれないままパソコンやスマートフォンに入り込む可能性があります。心当たりのない電子メールの開封や不審なフリーソフト等のダウンロードには十分ご注意ください。また、ウィルス等に感染した疑いのある場合は、すぐにセキュリティ対策ソフトなどでウィルスチェックを行ってください。

### ■金融機関を装った不審なCD-ROMに注意する

金融機関を装ったCD-ROMをインストールしたところ、身に覚えのない振込みがなされるという事件が発生しています。

万一、不審なCD-ROMが当金庫名で送付されてきた場合には、パソコンに挿入せずに、当金庫までご連絡ください。

### ■重要な情報をPC、スマートフォン等内に保存しない

パスワード等の重要情報は、絶対にPCおよびスマートフォン内に保存しないでください。コンピュータウィルスやスパイウェアによってそれらが流出した場合、深刻な被害に遭うおそれがあります。

同様に、ネットワーク上のサービス（例：クラウドサーバー）等にこれらの重要情報を保存することもやめてください。